

2014年度 環境活動レポート

(2014年2月1日～2015年1月31日)



発行日：2015年5月20日



〒990-2226 山形市西越 25 番地
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>

環境方針

■ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは「トラックボデーの製作」を通じ、トラック物流サービスの一翼を担っています。日本においては、地球温暖化の主原因とされる二酸化炭素排出量の約2割が運輸部門から排出されており、産業部門に次いで多くなっています。

私たちは、全人類が直面している地球環境問題を私たち自身の問題と認識し、長年培ってきた技術力をもって、環境面においても高機能・高付加価値のトラックボデーを提案し、温暖化防止に寄与していきたいと考えています。

私たちがつくった「環境にやさしいトラックボデー」が日本中を駆け巡ることを夢みながら、“情熱”をもって、エコアクション21環境経営システムに取り組んでいきます。

■ 環境行動指針

1. ムダな電力、化石燃料、水の使用をなくし、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 原材料をムダにせず、廃棄物は分別の徹底により可能な限り、リサイクルに回します。
3. 化学物質の適正管理とグリーン購入を推進していきます。
4. 環境関連の法律等を守り、地域の環境保全活動に協力していきます。
5. 私たちが提供する製品やサービスが与える環境負荷の削減のため、研究開発ならびに技術の研鑽に取り組めます。

2011年3月1日

株式会社 いそのボデー

代表取締役社長 磯野 栄 治

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者氏名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役社長 磯野 栄 治



2-2. 所在地

- 本社・工場 : 〒990-2226 山形市西越 25 番地

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者: 設計開発部長 石井 崇
- 連絡担当者 : 総務部長 本間 久美
- 連絡先: TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- Email: kumi.h@isono-body.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1964年(昭和 39 年)2月

2-5. 資本金

- 3, 630万円



2-6. 事業活動の内容(認証・登録範囲)

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行
- 各種自動車販売



2-7. 事業の規模

| 事業年度 | 2012 年 (2012.2~2013.1) | 2013 年 (2013.2~2014.1) | 2014 年 (2014.2~2015.1) |
|-----------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 事業規模の指標 | | | |
| 売上高(百万円) | 1, 525 | 1, 454 | 1, 530 |
| 従業員数(人) | 81 | 86 | 90 |
| 整備車両台数(台) | 6105 | 4,918 | 4, 794 |

注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月~翌年1月まで)による

3. 環境目標とその実績

3-1. 環境負荷の現状(環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

- 1) 2014 年度(2014.2~2015.1)の二酸化炭素排出量は、合計 373tとなっており、電力使用及び化石燃料による二酸化炭素排出量ともに昨年より増加しました。
- 2) 2014 年度に排出される二酸化炭素の 56%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でも灯油が 148tで全体の 40%を占めており、昨年より 9%増加しました。
- 3) 灯油は、冬場の塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用していますが、厳しい寒さで暖房器具の増設及び業務量などの影響があるものと考えられます。
- 4) 灯油以外の化石燃料では、軽油 21tガソリン 33tとなっていました。活動エリアは、県内外も含めかなり広がっていますが昨年と比較すると軽油はわずかの増加、ガソリンが 3t減少しました。
- 5) 電力の消費による二酸化炭素排出量は、164t で 44%の割合になっています。そのほとんどが工場の設備(コンプレッサー、プレス、クレーン等)の稼働また工場設備の稼働によるものと考えられます。

なお、電力の二酸化炭素換算係数は、平成 20 年東北電力の数値(0.469)を使用しました。

■ 廃棄物排出量

事業系の一般廃棄物としては、紙類(廃コピー用紙・段ボール類)が最も多くなっており、すべて、再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、廃プラが最も多く 57t、次いで木くずが 12t、金属くず(混廃)が 3.8t 廃油が 2.8t となっています。廃プラは、焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは、焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は 55.4%となっています。

■ 総排水量(水使用量)

当社においては、地下水の使用はないので、年間総排水量は上水使用量と等しくなります。年間の使用量は、1,580m³ でした。生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などで水を使用しています。

■ 化学物質使用量(購入量)

シンナーおよび塗料の中に含まれる PRTR 対象物質について、その購入量と含有率から、トルエンならびにキシレンの使用量を集計しました。最も多かった物質は、トルエンで 2,645kg、次いで、キシレン 1,331kg となっています。すべて、塗装作業で使用されることから、排出先は、大気となります。

3-2. 環境目標項目の選定と目標設定の考え方

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の7項目(山形エコアクション 21 対応項目を含む)について、環境目標(単年度目標&5年間の中期目標)を設定しました。

| 環境目標項目 | | 単年度目標 | 中期目標 |
|-----------------------|-------|--------------------------------|---|
| | | 2014年度目標 (2014.2※1～2015.1) | 2013年度～2017年度(5年間) |
| 二酸化炭素排出量 | | 2013年度比2%削減 | 2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。 |
| 廃棄物 排出量 | 一般廃棄物 | 2013年度比2%削減 | 2018年度までに一般廃棄物量を2013年度実績の10%削減を目指す |
| | 産業廃棄物 | 2013年度比2%削減 リサイクル率65%以上とする | 2018年度までに産業廃棄物量を2013年度実績の10%削減とする。またリサイクル率を80%以上とする |
| 総排水量 (水使用量) | | 2013年度比1%の削減 | 2018年度までに2013年度実績の5%の削減とする |
| 化学物質使用量 (PRTR対象物質) | | 2013年度比2%削減 | 2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す |
| グリーン購入推進 | | 2013年度比2%UP以上とする | 2018年度までに2013年度実績値の10%UPを目指す。 |
| 製品・サービスの環境負荷削減に関する目標 | | ISkip車の軽量化 | ISkip車の軽量化を2018年までに2014年度実績値の5%削減を目指す |
| | | 不良率2013年度比10%削減 | 2018年度までに市場不良率を2013年度実績値の50%削減を目指す |
| 山形エコアクション21 対応目標 | | 美しい山形・最上川フォーラムの事業活動を積極的に支援していく | |
| | | 年2回(5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する | |



3-3. 環境目標達成状況

2011年度から導入。4年間のデータを比較しました。

(取組結果のマイナスは増加を示します)

◆ 二酸化炭素排出量(電力使用) 【目標】2013年度比2%削減

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| 二酸化炭素排出量(電力) | 単位 kg-CO2 | 2011年 | 2012年 | 2013年[基準年] | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|--------------|--------------|---------|---------|------------|---------|---------|--------|---------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | | 114,005 | 131,880 | 151,411 | 148,382 | 164,859 | - 8.9% | 145,355 | × |



【取組の評価】 二酸化炭素排出量(電力使用)は基準年対比+8.9%で、目標を達成することは出来ませんでした。2012年後半に導入した、タレットパンチ及び乾燥炉の稼働増により電力量も増加しました

◆ 二酸化炭素排出量(化石燃料) 【目標】2013年度比2%削減

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| 二酸化炭素排出量(化石燃料) | 単位 kg-CO2 | 2011年 | 2012年 | 2013年[基準年] | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|----------------|--------------|---------|---------|------------|---------|---------|--------|---------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | | 207,498 | 217,632 | 199,811 | 195,814 | 208,291 | - 4.2% | 191,818 | × |



【取組の評価】 二酸化炭素排出量(化石燃料)は基準年対比+4.2%で、目標を達成することは出来ませんでした。車の燃料量は減少傾向にありますが、冬場の暖房及び業務量増加による灯油使用が増加しました。



◆ 廃棄物排出量(一般廃棄物) 【目標】2013年度比2%削減

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年〔基準年〕 | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|---------------|----|-------|--------|------------|-------|-------|-------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| 廃棄物排出量(一般廃棄物) | kg | 9,560 | 12,170 | 9,420 | 9,231 | 8,100 | 14.0% | 9,043 | ○ |



【取組の評価】 紙類、ダンボール類の一般廃棄物の量は2013年と比較14%も削減できました。事務所ではコピー用紙の裏紙使用や分別及びペーパーレス化により削減できました。

◆ 廃棄物排出量(産業廃棄物) 【目標】2013年度比2%削減 リサイクル率65%以上

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年〔基準年〕 | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|---------------|----|-------|---------|------------|---------|---------|--------|---------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| 廃棄物排出量(産業廃棄物) | kg | - | 139,700 | 134,972 | 132,272 | 137,469 | - 1.9% | 129,573 | × |
| リサイクル率 | % | | 47 | 46.3 | 65 | 55.5 | 9.2 | 70 | × |



【取組の評価】 2013年度から取り組んでる3S活動による年2回の赤札作戦により工場内外の不要物を廃棄処分や業務の量が増加したことにより排出量を削減できませんでしたが、しかし分別等の徹底で昨年よりリサイクル率は9.2%向上しました。

◆ 水使用量 【目標】2013年度1%削減

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年〔基準年〕 | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|------|----------------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| 水使用量 | m ³ | 1,756 | 1,644 | 1,675 | 1,658 | 1,580 | -5.7% | 1,641 | ○ |



【取組の評価】 主に生活用水と洗車または弊社で製作した製品に水漏れチェックするシャワーテスト機に使用します。社内の節水の励行とシャワーテスト機ではエア混合比率を高めた事などによる節水効果があったものと思われます。

◆ 化学物質使用量 【目標】2013年度2%削減

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| 化学物質使用量 | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年[基準年] | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|---------|----|-------|-------|------------|-------|-------|--------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | t | 4,150 | 4,100 | 4,621 | 4,528 | 4,848 | - 4.9% | 4,437 | × |



【取組の評価】2014年度も引き続き3S活動により、工場の床及び台車、治具、工具棚等の色を統一して塗装したことや、業務量の増加等で塗料に含まれている化学物質使用量が増加したと思われます。シンナーはほぼエコシンナーに切替えています。

◆ グリーン購入 【目標】2013年度2%UP

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| グリーン購入 | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年[基準年] | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|--------|----|-------|-------|------------|-------|----|---------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | % | 64 | 41 | 61 | 63 | 39 | - 61.0% | 65 | × |



【取組の評価】事務用品を対象とした購入率(金額ベース)2014年度は39%と目標には及びませんでした。在庫を最少現にすることと環境に良い商品グリーン推奨品を選定していくことを継続していきます。

◆ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

【目標】iSkip車の軽量化 2013年度の10%軽量化

(増減率=(当該年度実績-基準年度実績/基準年度実績)×100)

| リヤドア重量 | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年[基準年] | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|--------|----|-------|-------|------------|-------|-----|-------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | kg | 120 | 120 | 120 | 108 | 105 | 12.5% | 98 | ○ |



【取組の評価】弊社のオリジナル商品のiSkipドアの軽量化はスライドドアの材質を変更したところ15kgの軽量化が実現できました。コスト等の面でなかなか実現できませんでした。

【目標】 不良率2013年度比10%削減

(増減率 = (当該年度実績 - 基準年度実績 / 基準年度実績) × 100)

| 不良率 | 単位 | 2011年 | 2012年 | 2013年〔基準年〕 | 2014年 | | | 2015年 | 評価 |
|-----|----|-------|-------|------------|-------|----|--------|-------|----|
| | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 実績 | 増減率 | 目標 | |
| | 件 | 98 | 106 | 70 | 63 | 73 | - 4.2% | 56 | × |



【取組の評価】 不良率は前年より3件増加し、目標件数を達成することは来ませんでした。この実績を踏まえデータを分析し同じ不良が起きないように取り組んでいます。

■ 地域の環境保全(山形エコアクション21対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)、会社周辺の清掃活動を実施



H26.5月と10月に会社周辺の清掃活動を実施しました。会社前の国道13号線から山形自動車道の側道近辺のゴミ拾いを2014年は延べ170人が参加しました。

4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度を取組内容

| 環境目標 | 活動・取組項目 | 活動の具体的内容 (どのように) | 実施時期 (いつまでに) | 該当場所 (どこで) | 担当者 (だれが) | 取組状況の確認結果 | | |
|----------------------|---|--|-----------------|----------------------|------------------------------------|-----------|--------|-------|
| | | | | | | 5月15日 | 10月20日 | 1月17日 |
| 二酸化炭素削減 削減率向上 | ■化石燃料の使用 1) 灯油 | * 暖房用: 各期間、事務所の室温を20℃を目安に管理する。 * 塗装工程: ジェットヒーターのスイッチをこまめにON/OFF | 冬期(暖房時) 主に冬期 | 事務所 塗装工場 | 室内在室者 担当者 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | 2) 軽油・ガソリン | * 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理する。 * エコドライブ研修会を実施する。 | 通年 年1回(6月) | 各車両 本社 各現場 | 車両管理責任者 環境管理責任者 現場管理者 在室者 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | - | × | - |
| | 3) LPG(暖房用) | * 事務所の室温を20℃を目安に管理する。 | 通年 冬期(暖房時) | 事務所 | 在室者 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | ■電力使用 1) 工場での使用 | * コンプレッサー: 毎月1回、エア漏れをチェックする。 * 照明器具: 休憩時、無人の場合など、照明を消す。 * 電気使用機器全般: 効率的な使用、こまめにON/OFF | 月1回 通年 通年 | 工場全域 | 現場管理者 最終退出者 電気機器使用者 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 2) 事務所での使用 | * 事務所の室温を暖房時20℃、冷房時24℃を目安に管理する。 * 不要な照明は消すなど、節電を徹底する。 * PCを省エネモードに設定し、長時間使われないときは電源を落とす | 暖房時 通年 通年 | 事務所 | 在室者 PC使用者 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| 産業廃棄物削減 削減率向上 | ■廃棄物の排出 1) 一般廃棄物 可燃ゴミ・段ボール類 カン・ペットボトル | * 分別のルールを決め、そのルールを守る * 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に入れる * 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。 * マイ水筒運動の展開 * 塗装工程の紙貼りの紙を削減するためにエアークッションで代用 * 処理業者の選定の見直し(リサイクル可能な業者の選定) * 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。 * マニフェスト管理を徹底する。 * 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。 | 通年 通年 | 社内全域 社内全域 | 全員 利用者全員 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ◎ | ◎ |
| | 2) 産業廃棄物 炭プラ・金属くず・廃油 | * 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。 * マイ水筒運動の展開 * 塗装工程の紙貼りの紙を削減するためにエアークッションで代用 * 処理業者の選定の見直し(リサイクル可能な業者の選定) * 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。 * マニフェスト管理を徹底する。 * 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。 | 7月 4月 6月 | 社内全域 社内全域 塗装工場 | 全員 利用者全員 廃棄物担当 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | ■水道の使用 | * 手洗器水栓の吐出量の適正化 * 洗車時の節水協力要請 | 4月 4月 | 社内全域 洗車場 | 環境推進委員 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| | ■化学物質の使用 | * エコシナーへの転換推進 | 6月 | 塗装工場 | 化学物質担当 | ○ | ○ | ○ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| ■事務用品の購入 | * 事務用品の発注時は、エコ商品を優先的に購入する。 * 取引先に対して、環境への取組を進める。 | 通年 通年 | 事務所 | 総務 環境推進委員 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ■製品の軽量化 ■市場不良率の削減 | * Skip車の軽量化 * 不良率前年度比10%削減 | 通年 通年 | 設計開発 | 設計開発 全員 | 取組中 | 取組中 | 取組中 | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | |
| ■地域の環境保全 | * 会社周辺の清掃活動 | 年2回 | 会社員 | 全員 | ○ | ○ | ○ | |
| | | | | | ○ | ○ | ○ | |

2011年より取組み始め4年が過ぎ、現在は3S活動・チョコ案活動と並行して推進しております。活動計画に基づき取組んでおりますが、目標を達成できない項目も多々あり、新たな取り組みを設けて成果があがるように努力いたします。

〈次年度以降の取組の概要〉

基本的な取組項目については、2015年度以降も継続していきます。また前年に未実施のエコドライブ研修会や産業廃棄物の分別の勉強会等も行っていきたいと思っております。

5. 環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規等が適用されますが、2015

年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- 廃棄物処理法
- 自動車リサイクル法
- フロン回収破壊法
- 家電リサイクル法
- 大気汚染防止法(VOC関係)
- 悪臭防止法
- PRTR法
- 水質汚濁防止法(油水分離槽)
- 浄化槽法
- 騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- 消防法ならびに山形市火災予防条例
- 高圧ガス保安法
- 労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来、ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

6. 代表者による見直しの結果

2014年度を取組としては3S活動、チョコ案活動と共に推進し全社を挙げて活動して参りました。その中で環境目標の達成状況は多くの項目で未達成となり成果を出すことができませんでした。中でも電力使用量が年々増加傾向にあり間接部門では様々な対策が取られているものの、工場の電力は業務量とも関わるためなかなか難しいものがあり今後の課題とします。

今後も環境負荷の取組を3S・チョコ案活動と合わせて全部門において、材料発注から製品完成までムダの無い仕組み作りを継続していきたいと考えております。

推進委員会による内部監査の実施を行い地球環境への配慮になお一層努めて参ります。



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
また、当社 HP (<http://www.isono-body.co.jp/>) エコアクション21中央事務局の
HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越 25 番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681